

里山素材を活用したエッセンシャルオイルで

# 林業を生活者の身近な存在に

林ゼミナール

## 目的

私たちは、森林資源の新たな活用法を提案し、生活者にとって林業をより身近な存在にすることで、**里山の経済を持続的に成長**させる推進力の一つになることが目的です。

## 精油とは

エッセンシャルオイルとは、植物のよい香りのする揮発性の脂溶性成分を抽出したものです。

里山の素材を用いたオイルを広く普及することで、普段森林とのかかわりが薄い生活者が、森林を身近な存在と感ずることができ、**林業に対する関心を深めてもらう**ことができると考えています。

## 精油の作り方

まず、圧力鍋に精油を抽出する素材を鍋いっぱい詰め込みます。私たちは、杉の間伐の際にロスとなってしまうスギの葉を主に活用しました。

鍋に詰め込んだ素材を、高温・高圧な水蒸気にさらすことで、含有する揮発性成分を抽出します。これを冷却することで精油が分離されます。

素材にもよりますが、鍋いっぱいの材料から小瓶半分（約5cc）の精油を生成することができます。

## 活動報告

### いなわしろフェスティバルへ出店

6月6日、猪苗代で催された自然体験交流イベントに出店しました。

イベントでは、子供たちに抽出する前の素材と精油の香りを比べてもらう取り組みを行いました。

素材の香りと精油の香りの強さのギャップを不思議そうに驚く子供たちが印象的でした。

学生は大学の授業の一環としても参加し、猪苗代の林業の関係者と交流を深め、林業の課題について意識を高める催しとなりました。



### 本宮市で里山ワークショップに参加

10月10日、本宮市で、NPOグリーンエネルギーユースーズとの協力のもと、里山資源活用に関するワークショップに参加しました。

ワークでは、伐採した木材を運ぶ体験をしたり、新しいアウトドアの形を実際に肌で感じることができました。



その他、学内での農業系のイベントへの出店や、古殿町で、馬搬ネットワークの見学の活動を行いました。